

第35回日本末梢神経学会学術集会

鹿児島

末梢神経障害

— 真の原因を求めて —



会期 2024年 9/6 (金)・7 (土)

会場 鹿児島県医師会館 鹿児島市中央町8-1

会長 高嶋 博 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
脳神経内科・老年病学 教授

プログラム
・
抄録集

<https://www.congre.co.jp/jpns2024>

第 35 回日本末梢神経学会学術集会開催にあたって



第 35 回日本末梢神経学会学術集会

会長 高嶋 博

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 脳神経内科・老年病学 教授

この度、鹿児島大学脳神経内科・老年病学教室では、第 35 回日本末梢神経学会学術集会を 2024 年 9 月 6 日（金）・7 日（土）に鹿児島県医師会館（鹿児島市）にて開催させていただくことになりました。本会の大会長をさせていただきます、高嶋 博から一言ご挨拶を申し上げます。

末梢神経学会では、末梢神経疾患の病態解明や治療法の開発のため、私どもの属する脳神経内科のみならず、整形外科、リハビリテーション科、基礎医学講座など学際的に末梢神経疾患の病態を解明し、よりよい治療を開発することを目的としております。また、研究手法は幅広く、病理学、遺伝学、免疫学、代謝学、電気生理学、再生医療、手術療法、薬物療法、理学療法、作業療法、装具などを専門とするそれぞれの分野のエキスパートが参加し、それぞれが持ち味を発揮して末梢神経研究に取り組んでいます。また、最近では脊髄疾患の分野にも踏み込んでおります。

末梢神経疾患は、もっとも多い糖尿病性ニューロパチーを筆頭に驚くほど多くの患者がおり、手根管症候群、単神経障害、ギラン・バレー症候群、慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー、ATTRv アミロイドーシス、外傷性末梢神経障害など様々な疾患がありますが、これらの総計患者数は 1000 万人に及んでいます。本学会ではこれらの疾患が引き起こす麻痺、筋力低下や感覚低下、疼痛、自律神経症状などに対して、治療法を開発改良し、よりよい解決を図るための活動をしています。

2024 年、鹿児島で行われる予定の末梢神経学会学術集会では、記載したエキスパートたちに最新の知見を発表していただくとともに、教育的なコンテンツも入れて、画像診断や病理診断など正確な診断を行うべく知識のアップに役立つ会を計画しております。また、慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチーのガイドラインが改定されるのに併せて、ガイドラインの概要説明や、糖尿病性ニューロパチーの治療の Tips、アミロイドーシスに対する遺伝子治療の進歩、再生医療などを盛り込み、最先端の手術なども取り入れました。

今回のテーマは、“末梢神経障害 - 真の原因を求めて - ”を掲げております。末梢神経障害の病態は解明されつつありますが、ゲノム解析の進歩により、Charcot-Marie-Tooth 病や感覚性のニューロパチーの遺伝的な原因が飛躍的にわかるようになってきました。リピート延長が原因の末梢神経障害も多数発見されています。さらに、新しい自己抗体による末梢神経障害も解明されつつあり、このような進歩を踏まえて、真の原因に基づいての議論を本学会で行うことで、新しい末梢神経学を感じていただければと思っています。そのことで、さらなる末梢神経疾患の理解と治療法開発に向けて飛躍していくことを期待しております。鹿児島の地も発展を続けており、忙しい診療の中とは存じますが、是非とも現地に足をお運びいただき、ご参加いただければありがたく存じます。末筆ながら、皆様のご発展を祈念いたします。

2024 年 7 月

第35回日本末梢神経学会学術集会 日程表

第1日目 (2024年9月6日(金))

	第1会場 大ホール (4F)	第2会場 中ホール1 (3F)	展示会場 ロビー (3F)	ポスター会場 中ホール2 (3F)
9:00	00 開会式			
10:00	10 シンポジウム1 自己免疫性ニューロパチーの新たな展望 座長：海田 賢一、楠 進 演者：緒方 英紀、深見 祐樹 平野 牧人、清水 文崇	10 一般演題1 (外科系) 肘部管症候群 座長：有野 浩司	企業展示	ポスター貼付
11:00	35 教育講演1 末梢神経疾患の画像診断 座長：杉江 和馬 演者：山田 恵	55 一般演題2 (基礎系) 座長：内藤 聖人		
12:00	20 教育講演2 病理からみた末梢神経疾患の病態と治療戦略 座長：中村 友彦 演者：小池 春樹	40 一般演題3 (内科系) 遺伝性ニューロパチー 座長：関島 良樹		
13:00	15 ランチョンセミナー1 アミロイドーシスの診断と治療戦略 -up to date- 座長：植田 光晴 演者：小池 春樹 共催：ファイザー株式会社	25 一般演題4 (基礎系) 座長：林 礼人		
14:00	25 会長講演 末梢神経障害—真の原因を求めて— 座長：中川 正法 演者：高嶋 博	15 ランチョンセミナー2 慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチー ガイドライン2024：ポイントはこちらです！ 座長：桑原 聡 演者：三澤 園子 共催：一般社団法人日本血液製剤機構		
15:00	15 招待講演 Peripheral Neuropathies and Gene Tests among Filipinos in a Referral Neuromuscular Unit of a University Hospital 座長：有村 公良 演者：Raymond L. Rosales	25 一般演題5 (外科系) 下肢の末梢神経障害 座長：大村 威夫		
16:00	05 シンポジウム2 末梢神経の手術の進歩 座長：山本美知郎、酒井 昭典 演者：古島 弘三、市原 理司 目瀬藤四郎	10 学会賞候補演題セッション 座長：漆谷 真、池田 和夫		
17:00	15 シンポジウム3 日本で発見された末梢神経疾患 座長：祖父江 元、神田 隆 演者：三澤 園子、山崎 亮 中川 正法	40 症例報告賞候補演題セッション 座長：植田 光晴、波呂 浩孝		
18:00	30 イブニングセミナー1 すべての医師の日常診療に役立つ末梢神経障害を疑うポイントと 自己免疫性末梢神経疾患の最新治療～脳神経内科の視点～ 座長：海田 賢一 演者：竹下 幸男 共催：武田薬品工業株式会社	45 一般演題6 (外科系) 手根管症候群1 座長：三上 容司		
19:00	00 懇親会 (表彰式) 会場：吾愛人 中央駅東口店+GAORYU (鮮極 高柳GAORYU)	30 イブニングセミナー2 MS診療のUPDATE ～プレコンセプションケアと妊娠～ 座長：渡邊 修 演者：清水 優子 共催：バイオジェン・ジャパン株式会社		
				ポスター閲覧

第2日目 (2024年9月7日(土))

	第1会場 大ホール (4F)	第2会場 中ホール1 (3F)	展示会場 ロビー (3F)	ポスター会場 中ホール2 (3F)	
9:00	50 シンポジウム4 脊髄末梢神経再生を目指して：新たな医療の光 座長：岡野 栄之、西浦 康正 演者：池口 良輔、西島 貴之 尾崎 正大、高橋 義晴 岡野 栄之	50 一般演題7 (基礎系) 座長：多田 薫	企業展示	9:00-9:30 ポスター討論	
10:00	35 教育講演3 psychoneuroimmunologyの視点で捉える難治性運動器疼痛の病態 座長：栗本 秀 演者：平田 仁	35 一般演題8 (内科系) GBS/CIDP/MMN 座長：桑原 基		ポスター閲覧	
11:00	20 評議員会・総会	15 一般演題9 (内科系) 免疫ニューロパチー／血管炎性ニューロパチー 座長：山崎 亮			
12:00	00 ランチョンセミナー3 疑うことから始まるATTRvアミロイドーシス診療 ～治療可能な末梢神経障害を見逃さない～ 座長：小池 春樹 演者：植田 光晴 共催：Alnylam Japan株式会社	00 ランチョンセミナー4 慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチーの 病態と治療の展望 座長：桑原 聡 演者：桑原 基 共催：アルジェニクスジャパン株式会社			
13:00	10 シンポジウム5 CIDPとMMN治療の新時代： 改訂ガイドラインの意義 座長：桑原 聡、野寺 裕之 演者：国分 則人、小池 春樹 古賀 道明、海田 賢一	10 一般演題11 (外科系) 胸郭出口症候群 座長：古島 弘三			
14:00	40 スポンサードセミナー1 HAL医療用下肢タイプを使用したCMTなど神経筋難病への ニューロリハビリテーションの基礎から実際 座長：高嶋 博 演者：中島 孝 共催：CYBERDYNE株式会社	50 一般演題12 (外科系) 手根管症候群2 座長：田尻 康人			
15:00	45 教育講演4 糖尿病関連末梢神経障害(DPNs)の病型分類と病態機序 座長：三五 一憲 演者：出口 尚寿	40 スポンサードセミナー2 成人SMA診断のピットフォールと治療 座長：渡嘉敷 崇 演者：橋口 昭大 共催：中外製薬株式会社			
16:00	35 シンポジウム6 革新的アプローチで解き明かす遺伝性ニューロパチー 座長：橋口 昭大、能登 祐一 演者：能登 祐一、安藤 匡宏 岡本 裕嗣	45 一般演題13 (外科系) 上肢の末梢神経障害 座長：佐々木裕美			
17:00	45 閉会式	40 産業医学講座 物理的因子による末梢神経障害予防を 産業医として考える 座長：松浦 英治 演者：堀内 正久			
18:00					撤去
19:00					

第 35 回日本末梢神経学会学術集会 プログラム

2024 年 9 月 6 日 (金) 第 1 会場 大ホール (4F)

開会のあいさつ	9:00-9:10
会長：高嶋 博（鹿児島大学 脳神経内科・老年病学）	
シンポジウム 1 「自己免疫性ニューロパチーの新たな展望」	9:10-10:30
座長：海田 賢一（埼玉医科大学総合医療センター 脳神経内科） 楠 進（近畿大学 脳神経内科）	
S1-1 「自己免疫性ノドパチーの最近の話題」	
緒方 英紀（九州大学病院 脳神経内科）	
S1-2 「免疫性ニューロパチーにおけるバイオマーカーの意義」	
深見 祐樹（名古屋大学 神経内科学）	
S1-3 「免疫性ニューロパチーにおける RFC1 リピート伸長」	
平野 牧人（近畿大学 脳神経内科）	
S1-4 「免疫介在性ニューロパチーにおける血液神経関門破綻の意義」	
清水 文崇（山口大学 臨床神経学）	
教育講演 1 「神経画像」	10:35-11:15
座長：杉江 和馬（奈良県立医科大学 脳神経内科）	
EL1 「末梢神経疾患の画像診断」	
山田 恵（京都府立医科大学 放射線診断治療学）	
教育講演 2 「神経病理」	11:20-12:00
座長：中村 友彦（浜松医科大学附属病院 脳神経内科）	
EL2 「病理からみた末梢神経疾患の病態と治療戦略」	
小池 春樹（佐賀大学 脳神経内科）	
ランチョンセミナー 1	12:15-13:15
座長：植田 光晴（熊本大学 脳神経内科）	
LS1 「アミロイドーシスの診断と治療戦略 -up to date-」	
小池 春樹（佐賀大学 脳神経内科）	

会長講演	13:25-14:05
座長：中川 正法（京都府立医科大学）	
PL 「末梢神経障害 一真の原因を求めて」 高嶋 博（鹿児島大学 脳神経内科・老年病学）	
招待講演	14:15-14:55
座長：有村 公良（大勝病院 脳神経内科）	
IL 「Non-Diabetic Acquired and Genetic Peripheral Neuropathies in Two Philippine Referral Centers」 Raymond L. Rosales（University of Santo Tomas Hospital / Metropolitan Medical Center）	
シンポジウム2 「末梢神経の手術の進歩」	15:05-16:05
座長：山本 美知郎（名古屋大学 人間拡張・手の外科学） 酒井 昭典（産業医科大学 整形外科）	
S2-1 「胸郭出口症候群に対する内視鏡下手術の進歩」 古島 弘三（慶友整形外科病院）	
S2-2 「手外科・末梢神経外科におけるロボット手術の現状と今後の展望」 市原 理司（順天堂大学浦安病院 整形外科・外傷再建センター）	
S2-3 「軸索輸送と神経筋の再生：新しい神経再建術への応用」 目瀬 藤四郎（広島大学病院 形成外科 国際リンパ浮腫治療センター）	
シンポジウム3 「日本で発見された末梢神経疾患」	16:15-17:15
座長：祖父江 元（愛知医科大学） 神田 隆（脳神経筋センターよしみず病院）	
S3-1 「POEMS 症候群：現在の課題解決に向けて」 三澤 園子（千葉大学 脳神経内科学）	
S3-2 「神経障害性疼痛の病態解明への取り組み - 抗 PlexinD1 抗体同定の経緯と意義 -」 山崎 亮（九州大学 脳神経病研究施設 神経内科学）	
S3-3 「HMSN-P：その疾患概念の歴史」 中川 正法（京都府立医科大学 脳神経内科）	

 イブニングセミナー1

17:30-18:30

座長：海田 賢一（埼玉医科大学総合医療センター 脳神経内科）

- ES1 「すべての医師の日常診療に役立つ末梢神経障害を疑うポイントと自己免疫性末梢神経疾患の最新治療～脳神経内科の視点～」

竹下 幸男（山口大学 神経・筋難病治療学）

共催：武田薬品工業株式会社

2024年9月6日(金) 第2会場 中ホール1(3F)

 ランチョンセミナー2

12:15-13:15

座長：桑原 聡（千葉大学 脳神経内科）

- LS2 「慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチーガイドライン 2024：ポイントはこちらです！」

三澤 園子（千葉大学 脳神経内科）

共催：一般社団法人日本血液製剤機構

 イブニングセミナー2

17:30-18:30

座長：渡邊 修（鹿児島市立病院 脳神経内科）

- ES2 「MS診療のUPDATE～プレコンセプションケアと妊娠～」

清水 優子（東京女子医科大学 医療安全科・脳神経内科兼務）

共催：バイオジェン・ジャパン株式会社

一般演題（口演） プログラム

* 症例報告

2024年9月6日(金) 第2会場 中ホール1(3F)

一般演題1 「肘部管症候群」(外科系)

9:10-9:50

座長：有野 浩司（太田記念病院 整形外科）

- 1* 尺骨神経の神経束にくびれに類似する狭小化所見を認めた1例
原 由紀則（東京都立広尾病院 整形外科・末梢神経外科）
- 2 肘部管症候群における尺骨神経脱臼の意義について
橋本 貴弘（宇部興産中央病院 整形外科）
- 3 肘部管症候群術後の長期臨床成績と電気生理学的変化：5年間の後ろ向き研究
宮島 佑介（大阪公立大学 整形外科）
- 4 Wartenberg sign 陽性となる尺骨神経の振幅値について
船本 知里（関西電力病院）
- 5 上腕近位部導出による順行性尺骨神経混合神経伝導検査と最重症肘部尺骨神経障害での有用性
児玉 三彦（東海大学 リハビリテーション科）

一般演題2（基礎系）

9:55-10:35

座長：内藤 聖人（順天堂大学 整形外科）

- 6 リゾホスファチジン酸（LPA）によるDRGニューロン死や脱髄様病変誘導は新規LPA1受容体阻害剤により抑制される
三五 一憲（東京都医学総合研究所 糖尿病性神経障害プロジェクト）
- 7 ワーラー変性部の神経上膜に発現するNETsは末梢神経損傷の治療標的となる
竹内 博紀（北海道大学 整形外科）
- 8 新規3次元感覚神経オルガノイドを用いた末梢神経障害の機序解明
小柳 円花（和歌山県立医科大学 医療開発薬学研究室）
- 9 モデルマウスを用いた神経障害性疼痛治療薬としてのSEMA3E阻害抗体の有効性の検証
吉富 小都（九州大学 神経内科）
- 10 神経磁界計測装置を用いたcollisionの可視化
中山 健太郎（関西医科大学 神経内科）

一般演題 3 「遺伝性ニューロパチー」(内科系)

10:40-11:20

座長：関島 良樹 (信州大学 脳神経内科, リウマチ・膠原病内科)

- O-11* IgA- λ 型 M 蛋白血症を伴ったタンジール病の 1 例
大山 健 (岡崎市民病院 脳神経内科)
- O-12 本邦における成人 Charcot-Marie-Tooth 病患者の健康評価
辻 有希子 (京都府立医科大学 脳神経内科)
- O-13 シャルコー・マリー・トゥース病における転倒・骨折の実態調査
橋本 里奈 (東名古屋病院 脳神経内科)
- O-14 遺伝性トランスサイレチンアミロイドーシスの電気生理学的・病理学的特徴
井手 俊宏 (佐賀大学 脳神経内科)
- O-15* 正中神経手根管部に高度のアミロイド沈着を認めた遺伝性 ATTR アミロイドーシスの 1 剖検例
柴田 光輝 (豊田厚生病院 脳神経内科)

一般演題 4 (基礎系)

11:25-12:05

座長：林 礼人 (横浜市立大学 形成外科)

- O-16 ラット坐骨神経圧挫損傷モデルにおける神経再生にヒト人工多能性幹細胞由来シュワン細胞の神経上膜内注射が与える影響
藤田 一晃 (京都大学 整形外科)
- O-17 ヒト多能性幹細胞を用いた神経再生の促進効果を期待できるシュワン細胞の作製
伊倉 宏一 (株式会社 幹細胞&デバイス研究所)
- O-18 ヒト iPS 細胞由来の軸索を acellular graft として活用する新規人工神経素材の開発
奥山 健太郎 (新潟大学 組織学分野)
- O-19 新規製法により作成した Silk Fibroin Conduit の特徴的物性と末梢神経再生効果
松尾 知樹 (慶應義塾大学 整形外科)
- O-20 脂肪由来幹細胞の経静脈的全身投与を併用した自家神経移植術における神経移植片内の変化に関する検討
本田 宗一郎 (金沢大学 整形外科)

一般演題 5 「下肢の末梢神経障害」 (外科系)

13:25-14:05

座長：大村 威夫 (浜松医科大学 整形外科・森町地域包括ケア講座)

- O-21 大腿神経絞扼性障害手術例の検討
田中 貴大 (横浜市立大学 脳神経外科)
- O-22 上殿皮神経障害手術における神経同定に関する検討
金 景成 (日本医科大学千葉北総病院 脳神経外科)
- O-23 足根管症候群におけるアミロイド沈着に関する検討
國保 倫子 (日本医科大学 千葉北総病院 脳神経外科)
- O-24* 慢性足関節不安定症が原因と考えられた下垂足の3例
夏目 由美子 (東邦鎌谷病院 整形外科・手外科・末梢神経外科)
- O-25* 足関節部での牽引性神経障害が原因と考えられた非特異的腰痛の4例
萩原 祐介 (東邦鎌谷病院 整形外科・手外科・末梢神経外科)

学会賞候補演題セッション

14:10-15:30

座長：漆谷 真 (滋賀医科大学 脳神経内科)
池田 和夫 (金沢医療センター 整形外科)

【内科系】

- Aw-1 本邦の GBS とその亜型における自律神経障害の臨床的特徴
山岸 裕子 (近畿大学 脳神経内科)
- Aw-2 LGI4 抗体陽性 autoimmune nodopathy (AN) の臨床スペクトラムと病態機序
張 旭 (国際医療福祉大学 トランスレーショナルニューロサイエンスリサーチセンター)
- Aw-3 末梢神経障害患者を標的とした圧力・加速度センサを用いた新しい小型治療評価デバイスの開発
竹下 幸男 (山口大学 神経筋難病治療学)

【基礎系】

- Aw-4 ブレード付きシリンジコネクターで生成した Micronized Cellular Adipose Matrix の末梢神経再生促進効果
素輪 善弘 (自治医科大学 形成外科)
- Aw-5 末梢神経損傷後の反復運動による機能回復と Superior Cervical Ganglion 10 の発現動態への影響
草川 裕也 (鈴鹿医療科学大学 リハビリテーション学)
- Aw-6 転写調節因子 REST は GP130 を介した JAK1/STAT3 経路による軸索再生を制御する
川北 壮 (順天堂大学 整形外科)

【外科系】

- Aw-7 橈骨遠位端骨折の掌側ロッキングプレート固定後に生じた正中神経障害についての検討
佐伯 岳紀（名古屋大学 人間拡張・手の外科学）
- Aw-8 長時間の上肢手術も自家麻酔で可能である
—デクスメトミジン鎮静を併用した伝達麻酔 150 例における安全性と有効性の検討—
松本 聖志朗（JR 大阪鉄道病院 整形外科）
- Aw-9* 令和 6 年能登半島地震被災者における末梢神経麻痺
森 灯（金沢大学 整形外科）

症例報告賞候補演題セッション

15:40-16:40

座長：植田 光晴（熊本大学 脳神経内科）
波呂 浩孝（山梨大学 整形外科）

【外科系】

- Aw-10* 外傷性総腓骨神経断裂に対して自家神経移植に人工神経の Wrapping を併用し良好な経過をたどった一例
鈴木 雅生（順天堂大学附属浦安病院 手外科・外傷再建センター）
- Aw-11* 上肢神経損傷における有茎尺骨動脈穿通枝脂肪弁の有用性について
石河 恵（淀川キリスト教病院 整形外科）
- Aw-12* 尺骨神経脱臼を伴う尺骨神経障害に対する手術治療の検討
佐伯 総太（名古屋大学 人間拡張・手の外科学）
- Aw-13* 石灰化巣により生じた手根管症候群の 1 例
水島 秀幸（名古屋徳洲会総合病院 整形外科 手外科・マイクロサージャリーセンター）

【内科系】

- Aw-14* Chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy と鑑別を要した遺伝性圧脆弱性ニューロパチーの 2 例における臨床および電気生理学的検討
山元 正臣（埼玉医科大学総合医療センター 脳神経内科）
- Aw-15* 第二世代 BTK 阻害薬 tirabrutinib が奏効した抗 MAG/SGPG 抗体陽性ニューロパチーの 72 歳男性例
湯澤 千波（信州大学 脳神経内科, リウマチ・膠原病内科）
- Aw-16* パチシランにより重篤な Infusion reaction を生じたにも関わらず、ブトリシラン導入が可能であった ATTR-FAP の 1 症例
小橋 修平（滋賀医科大学附属病院 脳神経内科）

一般演題 6 「手根管症候群 1」(外科系)

16:45-17:20

座長：三上 容司（横浜労災病院 運動器センター）

- 26 手根管症候群患者における電気生理学的パラメータの鏡視下手根管開放術後変化
安田 知弘（昭和大学藤が丘病院 整形外科）
- 27 手根管症候群の母指球筋麻痺診断における母指小指間指腹つまみの有用性について
太田 壮一（関西電力病院 整形外科）
- 28* 手根管症候群の術後 2 年間ににおける電気生理学的検査の経時的変化
遠藤 浩二郎（公立陶生病院 整形外科）
- 29 手根管症候群における母指掌側外転力の Hand-Held Dynamometer (HHD) による定量測定信頼性
土井 一輝（小郡第一総合病院 整形外科）

一般演題 (ポスター) プログラム

* 症例報告

2024年9月6日(金) ポスター会場 中ホール2(3F)

一般演題 (ポスター)

17:00-17:30

- P-1 Nerve connector として使用した人工神経管内での神経再生様式に関する検討
大谷 慧 (順天堂大学 整形外科・運動器医学)
- P-3 末梢神経損傷に対する人工神経を用いた神経保護効果の検証
伊東 奈々 (順天堂大学 浦安病院 整形外科)
- P-5 食品由来成分による新規神経再生促進技術への挑戦
杉田 聡 (花王株式会社 生物科学研究所)
- P-7 高用量メチルコバラミンはマクロファージ内の M-Ras を介して M2 方向へ誘導しラット末梢神経損傷後の再生を促進する
岩橋 徹 (大阪大学 整形外科)
- P-9 トランスサイレチンアミロイド沈着の有無による特発性手根管症候群の病態の相違
山中 芳亮 (産業医科大学 整形外科)
- P-11* 手掌切創による欠損を伴う正中神経断裂に対して腓腹神経移植による治療を行った1症例
鮫島 勇毅 (昭和大学藤が丘病院 整形外科)
- P-13* 占拠性病変による稀なギヨン管症候群の2例
大村 威夫 (浜松医科大学 整形外科・森町地域包括ケア講座)
- P-15* 橈骨神経麻痺を伴う上腕骨骨幹部骨折 (AO12B3/IC3-MT2-NV2) に対して Riordan 変法を行った1例
井垣 龍 (昭和大学藤が丘病院 整形外科)
- P-17 手根管症候群と心アミロイドーシスの関連
片岡 佳奈 (日本大学 整形外科)
- P-19 手根管症候群の近位症状と神経伝導検査の検討
萩原 祐介 (東邦鎌谷病院 整形外科・手外科・末梢神経外科)
- P-21 野生型トランスサイレチン (ATTRwt) アミロイド陽性手根管症候群は重症例が多く、術後の回復が遅延する
大茂 壽久 (桜クリニック)
- P-23 重度肘部管症候群に対する前骨間神経移行術 (Supercharged end-to-side) の治療成績
兒玉 祥 (広島大学 整形外科)

- P-25 肘部管症候群における保存治療の有効な症例に関連する患者および疾患固有の要因について
浅野 研一（中京病院 整形外科）
- P-27 胸郭出口症候群における頸肋から伸張された線維性索状物はエコーによる可視化は可能か？
- 術中内視鏡所見との比較 -
井上 彰（慶友整形外科病院 リハビリテーション科）
- P-29 主要神経神経鞘腫に対する断片的核出を許容した顕微鏡下手術（IRIS 法）の有用性
野口 貴志（京都大学 整形外科）
- P-31* 小児上腕骨顆上骨折後の Volkmann 拘縮の一例
根本 菜穂（埼玉県立小児医療センター 整形外科）
- P-33* 上肢末梢神経障害を伴った好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の一例
奥野 誠之（鳥取県立中央病院 整形外科）
- P-35 当科における血液浄化療法の経験
牧 美充（鹿児島市立病院 脳神経内科）
- P-37* 免疫療法が奏功した免疫電気泳動検査で優位な反応のみられた慢性炎症性脱髄性多発神経根炎と考えた 3 例
門前 達哉（太田記念病院 脳神経内科）
- P-39 頭頸部血管狭窄に伴う脳梗塞を呈した POEMS 症候群 2 例の臨床的，病理学的検討
澤田 美乃里（信州大学附属病院 脳神経内科、リウマチ・膠原病内科）
- P-41 修復シュワン細胞（Bugner cell）は ATTRv アミロイドーシスの神経沈着に関与する
村上 龍文（川崎医科大学附属病院 脳神経内科）
- P-43* ポパイサインを認めた遺伝性 ATTR アミロイドーシス
野村 隼也（熊本大学 脳神経内科）
- P-45* 非対称性の筋症状を呈した Charcot-Marie-Tooth 病 type2Z の 1 例の臨床病理学的所見
竹内 啓喜（南京都病院 脳神経内科）
- P-47 多様な臨床症状を呈する本邦の GARS 遺伝子変異による CMT2D/HMN5 12 例の検討
穂原 貴裕（鹿児島大学 脳神経内科・老年病学）
- P-49 本邦における DYNC1H1 関連疾患 8 症例についての臨床的検討
児島 史一（鹿児島大学 脳神経内科・老年病学）
- P-51 次世代シーケンシングによって検出された DNMT1 変異の機能的検証
袁 軍輝（鹿児島大学 脳神経内科・老年病学）
- P-53 Distal sensory polyneuropathy の病因と臨床的特徴の検討
小林 正樹（奈良県立医科大学 脳神経内科）

- P-55* MRI 所見が特徴的であった右総腓骨神経麻痺の1例
宮澤 実里 (豊田厚生病院 脳神経内科)
- P-57 入院カルテから読み解く末梢性動眼神経麻痺の特徴と課題
小阪 崇幸 (国立病院機構 熊本医療センター 脳神経内科)
- P-59 機能性感覚障害患者の感覚神経活動電位 (SNAP)
関口 兼司 (神戸大学 脳神経内科)
- P-61 F-MUNE 自動解析プログラムにおける反復 F 波の自動同定に関する検証
蜂須賀 明子 (産業医科大学 リハビリテーション医学講座)

2024年9月7日(土) 第1会場 大ホール(4F)

シンポジウム4 「脊髄末梢神経再生を目指して：新たな医療の光」

8:50-10:30

座長：岡野 栄之（慶應義塾大学 再生医療リサーチセンター）

西浦 康正（筑波大学附属病院 土浦市地域臨床教育センター）

S4-1 「末梢神経損傷に対するバイオ 3D プリンターを用いた三次元神経導管による神経再生」

池口 良輔（京都大学附属病院 リハビリテーション科）

S4-2 「坐骨神経切断モデルラットに対するヒト iPS 細胞由来の神経突起束を用いた新規人工神経移植法の検討」

西島 貴之（慶應義塾大学 整形外科）

S4-3 「ヒト iPS 細胞を用いた脊髄再生医療」

尾崎 正大（慶應義塾大学 整形外科）

S4-4 「脊髄損傷モデルラットに対する Muse 細胞移植治療」

高橋 義晴（東北医科薬科大学 脳神経外科）

S4-5 「iPS 細胞技術を用いた ALS、Kii-ALS/PDC、HMSN-P の病態解析と遺伝子治療の可能性について」

岡野 栄之（慶應義塾大学 再生医療リサーチセンター）

教育講演3

10:35-11:15

座長：栗本 秀（トヨタ記念病院 整形外科）

EL3 「psychoneuroimmunology の視点で捉える難治性運動器疼痛の病態」

平田 仁（名古屋大学 個別化医療学）

ランチョンセミナー3

12:00-13:00

座長：小池 春樹（佐賀大学 脳神経内科）

LS3 「疑うことから始まる ATTRv アミロイドーシス診療 ～治療可能な末梢神経障害を見逃さない～」

植田 光晴（熊本大学 脳神経内科学）

共催：Alnylam Japan 株式会社

シンポジウム5 「CIDPとMMN 治療の新時代：改訂ガイドラインの意義」

13:10-14:30

座長：桑原 聡（千葉大学 脳神経内科）

野寺 裕之（天理よろづ相談所病院 神経筋疾患センター・脳神経内科）

S5-1 「CIDP の電気診断のポイント」

国分 則人（獨協医科大学 脳神経内科）

S5-2 「[ステロイド CQ] について」

小池 春樹 (佐賀大学 脳神経内科)

S5-3 「CIDP における免疫グロブリン療法：2024 ガイドラインから」

古賀 道明 (山口大学 保健学専攻)

S5-4 「CIDP/MMN における血漿浄化療法：新診療ガイドライン 2024」

海田 賢一 (埼玉医科大学総合医療センター 脳神経内科)

スポンサーセミナー 1

14:40-15:40

座長：高嶋 博 (鹿児島大学 脳神経内科・老年病学)

SS1 「HAL 医療用下肢タイプを使用した CMT など神経筋難病へのニューロリハビリテーションの基礎から実際」

中島 孝 (新潟病院 脳神経内科)

共催：CYBERDYNE 株式会社

教育講演 4 「DM neuropathy」

15:45-16:25

座長：三五 一憲 (東京都医学総合研究所 糖尿病性神経障害プロジェクト)

EL4 「糖尿病関連末梢神経障害 (DPNs) の病型分類と病態機序」

出口 尚寿 (鹿児島大学病院 総合臨床研修センター／糖尿病・内分泌内科)

シンポジウム 6 「革新的アプローチで解き明かす遺伝性ニューロパチー」

16:35-17:35

座長：橋口 昭大 (鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経内科)

能登 祐一 (京都府立医科大学 脳神経内科)

S6-1 「本邦の Charcot-Marie-Tooth 病患者の臨床像解析と生理学的バイオマーカー探索の試み」

能登 祐一 (京都府立医科大学 脳神経内科)

S6-2 「遺伝性ニューロパチーの解明に向けた遺伝子解析の進歩と課題」

安藤 匡宏 (鹿児島大学 脳神経内科)

S6-3 「Charcot-Marie-Tooth 病の治療の進歩」

岡本 裕嗣 (鹿児島大学 基礎理学療法学)

閉会式

17:45-17:55

2024年9月7日(土) 第2会場 中ホール1(3F)

ランチョンセミナー 4

12:00-13:00

座長：桑原 聡（千葉大学 脳神経内科）

LS4 「慢性炎症性脱髄性多発根ニューロパチーの病態と治療の展望」

桑原 基（近畿大学 脳神経内科）

共催：アルジェニクスジャパン株式会社

スポンサーセミナー2

14:40-15:40

座長：渡嘉敷 崇（国立病院機構 沖縄病院）

SS2 「成人 SMA 診断のピットフォールと治療」

橋口 昭大（鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経内科）

共催：中外製薬株式会社

産業医学講座

16:40-17:40

座長：松浦 英治（鹿児島大学 脳神経内科・老年病学）

産業医 「物理的因子による末梢神経障害予防を産業医として考える」

堀内 正久（鹿児島大学 医歯学総合研究科 衛生学・健康増進医学）

一般演題 (口演) プログラム

* 症例報告

2024年9月7日(土) 第2会場 中ホール1(3F)

一般演題7 (基礎系)

8:50-9:30

座長：多田 薫 (金沢大学 保健学類)

- O-30 間歇性跛行を模擬する腰部脊柱管狭窄症モデルの開発とその病態に関する検討
寺尾 英将 (北海道大学 整形外科)
- O-31 ミロガバリン添加が転写調節因子 REST 高発現細胞における末梢神経軸索再生に及ぼす影響
川村 健二郎 (順天堂大学 整形外科・運動器医学)
- O-32 水素付加が転写調節因子 REST 高発現状態における末梢神経軸索再生に及ぼす影響
鈴木 崇丸 (順天堂大学 整形外科・運動器医学)
- O-33 重症度の異なる神経障害モデルラットに対する supercharge end-to-side (SETS) nerve transfer の有効性
宗盛 優 (広島大学 整形外科)
- O-34 更年期ラットモデルにおける末梢神経絞扼損傷後の変化に対する検討
石井 紗矢佳 (順天堂大学附属浦安病院 手外科センター)

一般演題8 「GBS/CIDP/MMN」(内科系)

9:35-10:15

座長：桑原 基 (近畿大学 脳神経内科)

- O-35 ギラン・バレー症候群での snRNP 抗体の臨床的意義
清水 文崇 (山口大学 臨床神経)
- O-36 ギラン・バレー症候群の全国疫学調査：中間解析
水地 智基 (千葉大学 脳神経内科)
- O-37* 当科で経験した慢性炎症性脱髄性多発神経炎 (CIDP) 患者の発症年齢と臨床的特徴の解析
林 智宏 (富山大学 脳神経内科)
- O-38 慢性炎症性脱髄性多発神経炎 (CIDP) 患者におけるエフガルチギモド皮下注射剤の有効性及び安全性：ADHERE/ADHERE+ 試験
桑原 聡 (千葉大学 脳神経内科)
- O-39* 妊娠中も免疫グロブリン大量静注療法を継続し、再発することなく無事分娩に至った多巣性運動ニューロパチーの1例
内 孝文 (東邦大学 医療センター 大橋病院 脳神経内科)

 一般演題 9 「免疫ニューロパチー／血管炎性ニューロパチー」(内科系) 10:15-10:55

座長：山崎 亮 (九州大学 神経内科学)

- 40 サルコイドニューロパチーの病態における肉芽腫、血管炎および脱髄の意義に関する検討
毛利 尚裕 (岐阜県立多治見病院 脳神経内科)
- 41 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症による末梢神経障害 (EGPA-N) 26 例の ANCA 別早期治療反応性の比較
山中 菜々美 (山口大学 臨床神経学)
- 42* 当院での末梢神経生検の診断意義
根本 壤 (山口大学 脳神経内科)
- 43 Neurofascin 155 抗体陽性自己免疫性ノドパチーとの比較に基づく contactin 1 抗体陽性症例の臨床的特徴
緒方 英紀 (九州大学病院 脳神経内科)
- 44* 血清 IgM 値が正常で M 蛋白が陰性であった MAG 抗体関連ニューロパチーの 1 例
桑原 基 (近畿大学 脳神経内科)

 一般演題 10 「糖尿病性神経障害」(内科系) 10:55-11:20

座長：鈴木 千恵子 (弘前大学 脳神経内科)

- 45 コンドロイチン硫酸合成低減マウスにおける糖尿病性神経障害の軽減と TGF- β シグナルの抑制
五十嵐 道弘 (新潟大学 神経生化学)
- 46 糖尿病性多発神経障害の小径線維障害：C 線維と A δ 線維の障害度について
馬場 正之 (青森県立中央病院 脳神経内科)
- 47 糖尿病性神経障害における DRG ニューロンの 3 次元解析
佐々木 崇矩 (弘前大学 分子病態病理学)

 一般演題 11 「胸郭出口症候群」(外科系) 13:10-13:45

座長：古島 弘三 (慶友整形外科病院)

- 48 神経性胸郭出口症候群における斜角筋間での神経癒着や圧迫は術前の画像検査にて予測できるか
森本 友紀子 (淀川キリスト教病院 整形外科)
- 49 胸郭出口症候群 (TOS) における第 1 肋骨切除後の追加手術に関する検討
高橋 啓 (慶友整形外科病院)
- 50 神経性胸郭出口症候群の再手術症例の検討
高松 聖仁 (淀川キリスト教病院 整形外科)

O-51 TOS 患者の手術前後における神経血管束の位置変化と術後成績

近藤 亮太 (慶友整形外科病院 リハビリテーション科)

一般演題 12 「手根管症候群 2」(外科系)

13:50-14:30

座長：田尻 康人 (東京都立広尾病院 整形外科)

O-52 手根管開放術術後の患者立脚型評価の推移

斉藤 公亮 (大阪公立大学 整形外科)

O-53 重度手根管症候群術後の患者立脚型評価における年齢の影響

岩井 暁哉 (京都府立医科大学 運動器機能再生外科 (整形外科))

O-54* 手根管開放術の除圧失敗例に対する超音波診断

黒沢 一也 (東前橋整形外科病院)

O-55 手根管症候群と頸椎症の鑑別～手根管症候群診断基準作成プロジェクトより

原 友紀 (国立精神・神経医療研究センター病院 整形外科)

O-56 手根管症候群質問票 (CTSI) の Rasch 分析による評価法

土井 一輝 (小郡第一総合病院 整形外科)

一般演題 13 「上肢の末梢神経障害」(外科系)

15:45-16:35

座長：佐々木 裕美 (鹿児島大学 整形外科)

O-57 上肢運動神経麻痺に対する supercharged end-to-side distal nerve transfer の治療成績

上村 卓也 (JR 大阪鉄道病院 整形外科)

O-58 上肢遠位神経移行術におけるドナー / レシピエント神経適合性の検討

兒玉 祥 (広島大学 整形外科)

O-59* 橈骨頭骨折に対する骨接合手術時に生じた医原性後骨間神経損傷の 3 例

日高 典昭 (阪和記念病院 整形外科)

O-60* 橈骨神経麻痺手指伸展再建への浅指屈筋腱移行およびその後療法

石河 利広 (大津赤十字病院 形成外科)

O-61* ECU 腱脱臼術後に生じた尺骨神経背側枝損傷により CRPS を発症した 1 例

遠藤 健 (北海道大学 整形外科)

O-62 特発性前骨間神経麻痺、後骨間神経麻痺の治療成績の検討

山賀 崇 (安城更生病院 整形外科)

一般演題（ポスター） プログラム

* 症例報告

2024年9月7日(土) ポスター会場 中ホール2 (3F)

一般演題（ポスター）

9:00-9:30

- P-2 脱細胞化神経の Prefabrication による中心部への新生血管と軸索伸長
谷本 佳弘菜（東広島医療センター）
- P-4 新規軸索再生因子 GFR α 1 を応用した末梢神経再建
村中 祐介（北海道大学 整形外科）
- P-6 ゼブラフィッシュを用いた神経再生評価法の確立
本橋 弘章（花王株式会社 生物科学研究所）
- P-8 末梢神経損傷後の脊髄における神経細胞とシナプスの可塑性変化
小西 克侑（大阪大学 整形外科）
- P-10* 肩挙上障害を生じた遺伝性圧脆弱性ニューロパチーの1例
佐竹 寛史（山形大学 整形外科）
- P-12* 肩周囲の3度熱傷を契機に発症した高位正中神経麻痺の一例
大石 崇人（磐田市立総合病院 整形外科）
- P-14* 外傷性坐骨神経麻痺による下垂足に対し後脛骨筋腱前方移行術を施行した一例
村上 悠人（昭和大学藤が丘病院 整形外科）
- P-16* Guyon 管症候群の2例
山本 博史（京都医療センター 整形外科）
- P-18 超音波検査による母指球筋の筋厚値と手根管症候群質問票との関連性
名倉 一成（新須磨病院 整形外科）
- P-20 直視下小皮切手根管開放術における解剖学的指標を基にした皮切デザインと、超音波を用いて確認した正中神経、尺骨動脈の位置について
村井 惇朗（福井県立病院 整形外科）
- P-22 びまん性屈筋腱滑膜炎を併発した手根管症候群とアミロイドーシスの関連についての検討
山本 大樹（富山県立中央病院 整形外科）
- P-24* 異なる要因で発症した Guyon 管症候群の3例
五十棲 秀幸（豊川市民病院）
- P-26* 両側に肘部管症候群とギオン管症候群を合併した一症例
喜多村 孝雄（日本医科大学 脳神経外科）

- P-28* 神経内グングリオンが疑われた足部腫瘍性病変の1例
鈴木 修身 (広島県立総合リハビリテーションセンター 整形外科)
- P-30* 手術治療を行った下肢における神経内グングリオンの4例
杉浦 香織 (浜松医科大学 整形外科)
- P-32* 当院で腓腹神経生検を施行した血管炎性ニューロパチー9例の検討
濱口 真衣 (獨協医科大学病院 脳神経内科)
- P-34* 高度の伝導遅延と急性軸索変性を示した Caspr1 抗体陽性自己免疫性ノドパチーの一例
土屋 智裕 (獨協医科大学 脳神経内科)
- P-36 初診時に CIDP が疑われた症例の経過
宮本 勝一 (和歌山県立医科大学 脳神経内科)
- P-38 発症初期に著明な左右非対称症状を示す Guillain-Barre 症候群の臨床的特徴
本郷 悠 (防衛医科大学校 神経・抗加齢血管内科)
- P-40 ドミノ肝移植二次レシピエントにおけるトランスサイレチンアミロイドーシスの末梢神経障害の解析
三隅 洋平 (熊本大学 脳神経内科)
- P-42* 肝移植後20年以上経過した遺伝性トランスサイレチンアミロイドーシス患者4例の臨床症状の推移および病理組織学的検討
山川 詩織 (熊本大学病院 脳神経内科)
- P-44* ソルビトール脱水素酵素遺伝子変異を認めた遺伝性ニューロパチーの6家系
湯地 美佳 (鹿児島大学 脳神経内科・老年病学)
- P-46 日本における遺伝性ニューロパチーの包括的遺伝子解析
吉村 明子 (鹿児島大学 脳神経内科・老年病学)
- P-48 MPZ 遺伝子変異による Charcot-Marie-Tooth 病は多様な電気生理所見を呈する
矢野 直志 (鹿児島大学 脳神経内科・老年病学)
- P-50 *SIGMAR1* 遺伝子変異を同定し得た dHMN 5家系6症例の臨床的検討
兒玉 憲人 (鹿児島大学 脳神経内科・老年病学)
- P-52* 感覚症状が主症状で前庭障害や小脳障害が目立たなかった CANVAS/RFC1 遺伝子関連スペクトラム障害の1剖検例
滋賀 健介 (松下記念病院 脳神経内科)
- P-54* 免疫チェックポイント阻害薬関連筋炎に両側横隔神経障害を合併した一例
清水 宏紀 (奈良県立医科大学 脳神経内科)
- P-56* 坐骨神経痛に対する神経ブロック後に下垂足が遷延し、電気生理学的にブロック近傍部での坐骨神経障害と診断した2例
喜多 也寸志 (姫路中央病院 神経内科)

- P-58 重度手根管症候群の術後予後予測因子の検討
吉村 道由（恒心会おぐら病院 脳神経内科）
- P-60 筋萎縮性側索硬化症における横隔神経伝導検査の有用性の検討
井口 直彦（奈良県立医科大学 脳神経内科）